

主催

一般財団法人全日本ろうあ連盟

助成

公益財団法人日本財団

地域の聞こえない・聞こえにくい人及び関係者に対し、『電話リレーサービス』と『制度化』についてご理解いただき、普及につなげることを目的としています。

電話リレーサービス 普及啓発 のための学習会



【開催概要】

日時：平成29年12月2日（土） 13:00～16:00

13:00～	開始
13:05～15:25	講演（第1部・第2部・第3部）
15:25～15:45	質疑応答
15:45～	閉会

会場：鳥取県西部総合事務所 2階 講堂
〒683-0054 鳥取県米子市糺町1丁目160

対象：どなたでも参加いただけます

- 協会会員、手話関係者、一般の方
- 聞こえない・聞こえにくい人をもつご家族
- 聞こえない・聞こえにくい人を雇用する企業・団体
- 行政職員

参加無料
(当日参加可能)

【講師】

【第1部】 13:05～13:45



井上 正之(イノウエ マサユキ)
「電話リレーサービス
日本と海外の状況」

国立大学法人 筑波技術大学産業技術学部産業情報学科 准教授。工学博士（1987年早稲田大学）。同じ聴覚障害を持つ兄が米国に移住した時に電話リレーサービスの存在を知る。以来、電話リレーサービスを含めた情報通信サービスのアクセシビリティに関する研究に従事。電気通信アクセシビリティ国際標準化対応検討委員会委員、電気通信アクセシビリティ標準化検討WG委員、世界ろう連盟（WFD）Accessibility 専門家グループ委員。

【第2部】 13:55～14:35



柏木 愛由美(カシワギ アユミ)
「日本財団の取り組み説明」
【デモ体験あり】

日本財団 特定事業部
福祉特別事業チーム所属
2014年より「日本財団電話リレーサービス・モデルプロジェクト」に携わる。

【第3部】 14:45～15:25



川森 雅仁(カワモリ マサヒト)
「電話リレーサービス
の制度化」

所属：慶應義塾大学 大学院政策メディア研究所
役職：特任教授
NTT 基礎研究所にて人工知能・言語処理、電子医療、次世代ブロードバンド応用サービス等の研究開発に従事。また1998年から2002年まで科学技術振興事業団の研究者(兼務)として、脳機能から見た言語発語と理解の基礎研究を行う。同時に北里大学で言語療法向けに授業を担当(2006年まで)。2006年からは、次世代ネットワークでの電話サービスについての研究開発にも従事。国連の一部である国際電気通信連合(ITU)で、障害者の情報アクセスの為に標準化に携わり議長等を歴任。現在、電話リレーサービスや字幕・手話などの放送への適用の国際標準化を行っている。平成25年10月より現職。

★申込書は裏面にあります★

【 会 場 】

鳥取県西部総合事務所 2階 講堂

〒683-0054

鳥取県米子市糀町1丁目160

(地図)



お申し込み
・
お問い合わせ

公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

(鳥取県西部聴覚障がい者センター)

〒683-0845 米子市旗ヶ崎6丁目19-48 堀田ビル1階

TEL : 0859-30-3659 Fax : 0859-30-3660

申込 URL : <http://torideaf.jp/publics/index/75>

(申込み)



『必要事項をご記入の上、11月20日(月)までに上記にメール又は、FAXにてお申し込みください』

電話リレーサービス普及啓発のための学習会参加申込書

(人数把握のため、事前の参加申込をお願いします)

氏名			所属	
連絡先	Tel :	Fax :	Mail :	
必要な配慮	手話 ・ 要約 ・ 磁気ループ			

※参加申込書に記載された個人情報は、この事業以外には使用いたしません。